



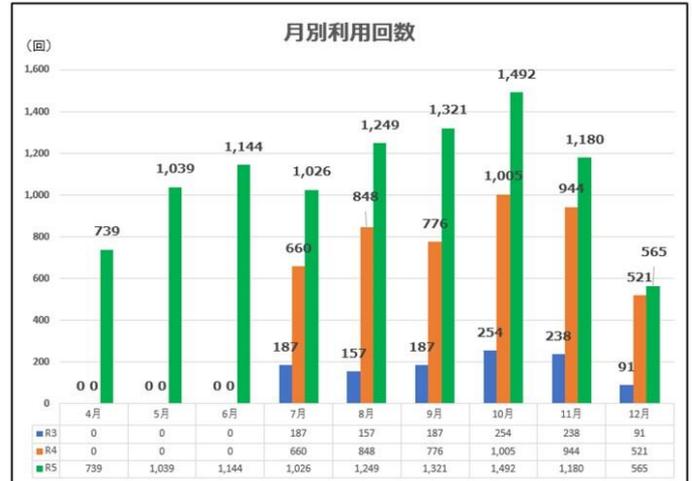
### 3-1.シェアサイクル社会実験の取組概要

- ◆ **令和3年度から令和5年度までの3年間**、社会実験を実施
- ◆ 商工会議所や交通事業者、長野県も参画する任意団体が事業主体となり、様々な取組を展開



#### 【利用実績】

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施規模	実施期間	7/1~12/19	7/1~12/18	4/1~12/17
	実施日数	172日間	171日間	261日間
	自転車台数	30台	45台	45台
	ポート数	5ヶ所	11ヶ所	16ヶ所
利用状況	利用回数	1,114回	4,754回	9,755回
	日平均	6.47回	27.80回	37.37回
	回転数	0.22回/台	0.62回/台	0.83回/台

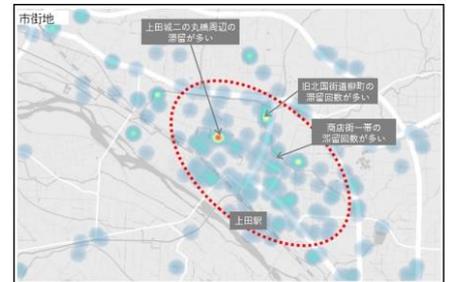


単なる貸自転車ではなく、**まちの賑わいや経済の活性化、脱炭素等、様々な地域課題の解決に寄与するツール**となり得る

### 3-2.シェアサイクル社会実験の効果検証

#### ①消費行動や滞在時間との関係

- ◆ 利用者アンケートにおいては、消費行動や滞在時間の促進について **9割以上が「効果あり」と回答**
- ◆ 観光目的の利用者 → **平均消費額：12,000円**
- ◆ 地元事業者からも来店機会が増えたとの声



↑シェアサイクル滞留状況 (R5.10)

#### ②既存公共交通との乗り継ぎ

- ◆ シェアサイクル前後の移動手段 → 「鉄道」62% 「バス」15%  
※参考：「徒歩」52% (複数回答項目につき合計は100%にはならない)
- ◆ 既存公共交通との競合ではなく、**連携による相乗効果の発現が可能**



↑上田駅お城口水車前ポート

#### ③脱炭素社会への寄与

- ◆ 再生可能エネルギーを活用した**自動充電システムの構築**
- ◆ CO<sub>2</sub>削減量 (試算)

※総走行距離、アンケート結果のマイカーからの転換割合から、独自試算

